

小職の研究で用いているMFT測定の問題項目は以下の通りです。

質問文は、MoralFoundation.orgサイトで公開されている英語の問題項目とその日本語訳(5基盤測定)

(<http://www.moralfoundations.org/questionnaires> からアクセス可能)

並びに、Iyer R, et al. (2012) Understanding Libertarian Morality: The Psychological Dispositions of Self-Identified Libertarians. PLOS ONE 7(8).で報告されている<自由/抑圧>基盤を測定する問題項目をもとにし、一般の方にも理解し、回答しやすいように、表現を工夫したものです<sup>1</sup>。

自由にお使いいただき、MFT研究の発展に資することができれば幸いです。なお、ご利用の際には、ハイトらへの言及とともに、日本語版は木村による和訳版を用いた旨を記載いただければありがたく存じます。(2017年12月、木村忠正)

問A ある人の行為が倫理的に正しいか間違っているかを判断するときに、次のような判断材料はあなたの考え方にどの程度関係しますか。「全く関係がない(正誤の判断に全く無関係)」～「きわめて関係がある(正誤の判断に最も重要なものの一つ)」で、最も適切な選択肢を、それぞれ一つ選び、記号に○をつけてください。

	全く関係がない	あまり関係がない	わずかに関係がある	ある程度関係がある	とても関係がある	きわめて関係がある
1. 誰かが感情面・精神面で苦痛を受けたかどうか	A	B	C	D	E	F
2. 一部の人が他の人々とは違う扱いを受けたかどうか	A	B	C	D	E	F
3. 行動がその人の属する国への愛に基づいていたかどうか	A	B	C	D	E	F
4. 権威への尊重を欠いていたかどうか	A	B	C	D	E	F
5. 清廉さや礼儀・品位の基準に反していたかどうか	A	B	C	D	E	F
6. 弱い人や傷つきやすい人に対する配慮があったかどうか	A	B	C	D	E	F
7. 不公平な行動をとっていたかどうか	A	B	C	D	E	F
8. 自分の所属する集団を裏切るような行為をしたかどうか	A	B	C	D	E	F
9. 社会の伝統に従っていたかどうか	A	B	C	D	E	F
10. きわめて不快で、人の気持ちを逆撫でするようなことをしたかどうか	A	B	C	D	E	F
	全く関係がない	あまり関係がない	わずかに関係がある	ある程度関係がある	とても関係がある	きわめて関係がある
11. その人が残酷・冷酷であったかどうか	A	B	C	D	E	F
12. 誰かの権利が否定されたかどうか	A	B	C	D	E	F
13. 行動が忠誠心にかけていたかどうか	A	B	C	D	E	F
14. 行動によって、無秩序や混乱が生じたかどうか	A	B	C	D	E	F
15. 神が許さないような行動をしたかどうか	A	B	C	D	E	F
16. 個人で保有している財産が尊重されていたかどうか	A	B	C	D	E	F
17. 誰もが自由に望むことをできたかどうか	A	B	C	D	E	F

<sup>1</sup> この日本語版での質問文表現検討に際しては、KDDI 総研（現 KDDI 研究所）の皆さまに貴重なご意見をいただきました。ここに記して、感謝申し上げます。

問 B あなたは、次のような道徳、価値観に関する意見についてどう思いますか。最もよくあてはまる選択肢の番号に、それぞれ一つ○をつけて下さい。

	全く同意しない	まあ同意しない	さほど同意しない	ある程度同意する	まあ同意する	強く同意する
1. 困っている人や苦しんでいる人を思いやることは何よりも大切なことだ	A	B	C	D	E	F
2. 政府が法律を作る際の第一原則は、全ての人が平等な扱いを受けることを保証することだ	A	B	C	D	E	F
3. 私は、自分の国の歴史を誇りに思う	A	B	C	D	E	F
4. 子供たちは皆、我が国の歴史や伝統、社会的に認められた人などを敬うことの大切さを教わる必要がある	A	B	C	D	E	F
5. たとえ誰も傷つかないとしても、きわめて不快で、人の気持ちを逆なですするような行動をとるべきではない。	A	B	C	D	E	F
	全く同意しない	まあ同意しない	さほど同意しない	ある程度同意する	まあ同意する	強く同意する
1. 無防備な動物を傷つける事は、人間として最悪の行動の一つだ	A	B	C	D	E	F
2. 正義とは、社会にとって必要とされる最も重要なものだ	A	B	C	D	E	F
3. たとえ家族が間違っただとしても、人は家族に忠実であるべきだ	A	B	C	D	E	F
4. 男性と女性には、それぞれ社会の中で果たすべき異なる役割がある	A	B	C	D	E	F
5. 自然の道理に反している行為は間違っている	A	B	C	D	E	F
6. 人の命を奪うような行為はどのような状況においても許されない	A	B	C	D	E	F
7. 裕福な家庭の子だけが多額の財産を受け継ぎ、貧しい家庭の子は何も受け継がないというのは不公平だ	A	B	C	D	E	F
8. 自己表現して目立つよりも、チームの一員として振る舞う方が大切だ	A	B	C	D	E	F
9. 上司や先生の命令や指示に納得がいなくても、義務である以上従うべきだ	A	B	C	D	E	F
10. 女性が性的に禁欲的であることは、重要で価値のある美德だ	A	B	C	D	E	F
11. ビジネスで成功している人は、自分が納得するまで報酬を得る権利がある	A	B	C	D	E	F
12. 社会に何か言われなくても各自が自分の生活に責任をもてれば、社会は最もうまくいく	A	B	C	D	E	F
13. 政府は私たちの日常生活にあれこれ口を出しすぎる	A	B	C	D	E	F
14. たとえ個人の自由が制限されたとしても、政府は社会全体の利益につながる政策を押し進めるべきだ	A	B	C	D	E	F
15. 近隣住民を危険にさらさない限り、土地の所有者は自分の望むように土地開発や住宅建設することを許されるべきだ	A	B	C	D	E	F
16. お互いの自由を侵さない限り、自分で自分の進むべき道を選ぶ自由があるべきだ	A	B	C	D	E	F
17. 人々は、どのようなルールや伝統に従って生きていくか、自由に選べるべきだ	A	B	C	D	E	F

### <注記>

- フルバージョンが難しい場合の「20問バージョン」は、水色の質問文
- 但し、この20問バージョンは、もともとの5ベクトルに対応しており、その後の研究で加わった「(経済的・ライフスタイル)自由(抑圧と対立)」(6番目のベクトル)を含んでいない。
- 6番目のベクトルに対応するのは、問Aの16、17(緑色)、問Bの16～22(緑色)。

### <スコアリング方法>

道徳基盤と質問項目の関係

	フルバージョン		短縮バージョン	
	問 A	問 B	問 A	問 B
Harm/Care	1, 6, 11	1, 6, 11	1, 6	1, 6
Fairness/Reciprocity	2, 7, 12	2, 7, 12	2, 7	2, 7
In-group/Loyalty	3, 8, 13	3, 8, 13	3, 8	3, 8
Authority/Respect	4, 9, 14	4, 9, 14	4, 9	4, 9
Purity/Sanctity	5, 10, 15	5, 10, 15	5, 10	5, 10
Liberty/ Oppression	経済的自由	16	16, 18, 19(逆転), 20	16, 19(逆転)
	ライフスタイル自由	17	17, 21, 22	17, 21

- それぞれの基盤得点=基盤に該当する質問項目の回答を、以下のように得点化し、単純和を質問項目数で割る
- 問 B の 19 問のみ、逆転項目で、全く同意しない=5、強く同意する=0、で得点化

#### 問 A

- 全く関係がない =0
- あまり関係がない =1
- わずかに関係がある =2
- ある程度関係がある =3
- とても関係がある =4
- きわめて関係がある =5

#### 問 B

- 全く同意しない =0
- まあ同意しない =1
- さほど同意しない =2
- ある程度同意する =3
- まあ同意する =4
- 強く同意する =5